

E P A活用推進会議  
(第4回)  
議事要旨

日時：2023年6月21日（水）13：00～15：00

形式：オンライン（Microsoft Teams）

出席者：

別紙の通り

配布資料：

- 1) 議事次第・配布資料一覧
- 2) 参加者一覧
- 3) 標準化・デジタルツール関連の取組
- 4) 啓発関連の取組
- 5) 制度・運用関連の取組
- 6) 「輸出に関する FTA アンケート調査」結果
- 7) E P A活用推進会議の今後の進め方報告

議事概要：

1. 開会

- ・ 椎野座長（拓殖大学 国際学部 准教授）より挨拶。

2. 挨拶

- ・ 福永経済連携課長より挨拶。

3. 各分野の取組ご紹介

- ・ 標準化・デジタルツール関連の取組について、東京共同会計事務所・元杭氏より説明。 ※詳細は「配布資料3」参照。
- ・ 啓発関連の取組について、旭化成(株)・田中氏より説明。 ※詳細は「配布資料4」参照。
- ・ 制度・運用関連の取組について、経済産業省より説明、および(株)アイシン・清水氏よりコメント。 ※詳細は「配布資料5」参照。

4. 「輸出に関する FTA アンケート調査」結果ご紹介

- ・ ジェトロ調査部国際経済課より本年4月に公表された「輸出に関する FTA アンケート調査」の結果についてご紹介。 ※詳細は「配布資料6」参照。

## 5. EPA 活用推進会議の今後の進め方

- ・ 今後の進め方について、「配布資料7」に基づき、経済産業省より説明。
- ・ 今後は、「配布資料7」に記載のアクションをもとに、業界団体等と個別にコミュニケーションを行い、全体で集まる本会議は秋頃から年末あたりに開催する方向性が示された。

## 6. 自由討議

- ・ 本日の議題について自由討議を実施したところ、参加者からの主なコメントは以下のとおり。
  - 東京共同会計事務所と共に作成したマニュアルをもとに、業界内における EPA 活用気運を高めたい。また、JAFTAS と日商のシステム連携については、会員企業へのヒアリングをして、より実利が取れるシステムとなるよう貢献したい。  
(工作機械)
  - 繊維はサプライヤーが多く、サプライチェーンが複雑。最終的に原産地証明 (CO) を取るのは商社であることが多い一方で、その準備段階の簡素化が大事だろう。また、ペーパーレスについては、現地の第三者機関が発効した CO が税関に直接送られるということが最近始まったが (ママ)、そうしたことが広まると良いだろう。(繊維)
  - EPA 活用推進のために、今年度業界団体内でワーキンググループを設けたところ、引き続き EPA 活用推進を業界として行いたい。(建設機械)

以上

お問合せ先：

通商政策局 経済連携課

電話： 03-3501-1595

FAX： 03-3501-1592